

〒650-0024  
神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎  
TEL:078-331-5924 Email:hyogo28\_hsatt\_kinki@maff.go.jp



### 第2回みどり戦略学生チャレンジ近畿大会 兵庫県内の受賞校を紹介します！

近畿農政局長賞



放置竹林を有効活用！  
オリジナル堆肥の製造と評価  
～TAKE TAKE2資源循環型農業の提案～  
**神戸学院大学 菊川ゼミ**

特別賞



小野市アンテナショップ「いちいち」×学生プロジェクト  
～トリコデルマ菌による  
「甘くて大きいトマト」の認知拡大～  
**流通科学大学 イチイチ戦略開発組**

特別賞



トマト甘酒の開発と販売  
産官学連携を基盤とする地域創生と  
持続可能な発展モデル  
**流通科学大学 西村典芳ゼミ**

特別賞



肉牛肥育のGHG削減に挑戦！  
～糞尿処理からのアプローチ～  
**兵庫県立但馬農業高等学校  
総合畜産科但馬牛班**

優秀  
チャレンジ  
賞



「猪名川ワイン」で地域を元気に！  
産官学連携による地域ブランド創出プロジェクト  
**流通科学大学 西村ゼミ**

優秀  
チャレンジ  
賞



耕作放棄地から広がる地域の未来  
高校生プロジェクト  
**東洋大学附属姫路高等学校  
地域活性部  
PROJECT TOYO 畑班**

優秀  
チャレンジ  
賞



メタン発酵バイオ液肥を活用した  
土壌環境改善と化学肥料の低減  
**兵庫県立農業高等学校  
発酵技術研究会**

優秀  
チャレンジ  
賞



ひょうごに住む私たちの地域創生～阪神・淡路  
大震災から30年 災害用備蓄食品の取組～  
**兵庫県立姫路商業高等学校  
地域創生部**



「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて、将来を担う若い世代の環境に配慮した取組を促すため、農業大学校や農業高校を含む大学生や高校生等の個人・グループが「みどりの食料システム戦略」に基づいた活動を実践する機会として「みどり戦略学生チャレンジ」を開催しています。

キラ☆  
現場にて

神戸発 こだわりの完熟いちごで  
皆を笑顔にしたい！



＜神戸市 神戸農園ハレいろ 佐々木 隆仁さん＞

神戸市西区でいちごを栽培する神戸農園ハレいろの佐々木 隆仁さんにお話を伺いました。



こだわりいちごを販売する佐々木さん

－就農したきっかけは？－

私は、サラリーマンから農家へ転身しました。将来、食の分野で起業したいという思いから経営を学ぶうちに、自分の工夫次第で成長できる農業に魅力を感じるようになったためです。さらに、喜んでもらえる食べ物を作りたいという気持ちが、就農への原動力になりました。

いちごを選んだのは、嗜好性が高く、ブランディングしやすいだけでなく、品質へのこだわりを反映しやすい作物だと考えたからです。

そして、大消費地に近い立地で新鮮ないちごを届けるため、都市近郊型農業を目指して、神戸市で就農することを決めました。

－どのような取組みをされていますか－

現在栽培しているのは、紅ほっぺ・かおり野・やよいひめ・よつぼし・章姫の5品種です。気温・湿度・二酸化炭素濃度・灌水・日射量を自動管理する環境制御設備を導入し、常に最適な環境を保っています。また、徹底した栽培管理と丁寧な間引きで、一粒一粒を大きく甘く育てています。



収穫直前のいちご



直売所「ハレいろショップ」の外観

特に大切にしているのは、完熟いちごを早朝に収穫し、鮮度そのままに直売所等で販売することです。このこだわりいちごはスーパーやケーキ店にも届けています。

－今後の展望は？－

気軽に立ち寄って楽しめる場所づくりを進め、「神戸を代表する、誰もが知る農園」にすることが目標です。

取材当日も、直売所には朝採れのいちごが並べられ、次々とお客さんが訪れていました。また、複数の品種を食べ比べできるいちご狩りも人気で、「このいちごが一番おいしい」という声が、佐々木さんの大きな励みになっているといいます。

さらに、自身の経験を活かし、これから農業に挑戦する人にとってのモデルとなる農園を目指していきたいと佐々木さんは語られました。



神戸農園ハレいろHP

解説！  
基本計画

都市農業の振興について教えてください。

都市農業は、

- ①新鮮な農産物の供給（地産地消機能）、②身近な農業体験・交流活動の場の提供（交流創出機能）、③災害時の防災空間の確保（防災機能）、④やすらぎや潤いをもたらす緑地空間の提供（景観創出機能）、⑤国土・環境の保全（環境保全機能）、⑥都市住民の農業への理解の醸成（食育・教育機能）といった多様な役割を果たしています。

農林水産省では、都市住民と共生する農業経営の実現のため、農業体験や農地の周辺環境対策、防災機能の強化等の取組を支援することにより、多様な機能を有する都市農業の振興に向けた取組を推進しています。

副地方参事官





近畿農政局  
「ええやん！みどり」農業について学ぼう！

# 出前授業

～地球にやさしい農業と食べ物のお話～

農林水産省 近畿農政局の若手職員チーム  
「ええやん！みどり」のメンバーが、  
日本の農業、食料や環境などの現状や様々な課題を  
小学生たちに知ってもらうことを目的に、  
クイズを交えて楽しく授業をします！  
※費用はかかりません



出前授業の案内・申込  
詳細はこちら▶



📷 出前授業の様子  
令和8年3月10日 多可町立中町南小学校



## 環境保全に配慮した農業に取り組む農家さんのご紹介

豊岡市「まるいち」代表 安達 陽一さん

— 土の力を信じて、安心でおいしい農産物を届けたい —



### 取組の紹介

「まるいち」は、兵庫県北部の豊岡市で有機栽培を中心にできるだけ農薬や化学肥料に頼らない「人にも自然にも優しい」農業に取り組み、コウノトリ育む農法のお米、有機にんじんなどを生産・販売しています。



(コウノトリ育む農法のお米)



(有機にんじん)

代表を務める安達陽一さんは就農5年目の若手農業者です。安達さんが有機農業に興味を持ったきっかけは、祖父が専業農家であり子どものころから農作業を手伝っていたことや、高校時代に会った本「奇跡のリンゴ」に書かれていた無農薬でのリンゴ栽培に興味を持ったことです。高校卒業後はリンゴの主産地である青森県の大学に進学し農業を学びました。

大学・大学院卒業後は地元豊岡市役所に勤務していましたが、農業への想いが強まり退職し、2021年4月に祖父の後継者として就農。就農後はこれまでの慣行栽培から有機栽培などの環境に配慮した農業に転換しました。

安達さんは「安全な農産物をお届けしたい」という想いで農業に取り組んでおり、豊岡市内の小学校で農業の出前授業も行っています。また、主力品目である有機にんじんを但馬地域の有機農業者の仲間が設立した「豊岡オーガニックワークス」を通じて販売しています。今後は、豊岡市を有機にんじんの産地として全国に発信していくことを目指しています。



(安達 陽一さん)

### 簡単な経営概況

経営面積 8ha  
(主な栽培品目)  
・有機JAS水稻 2ha  
・有機JASにんじん 50a  
・有機JAS白ネギ 15a  
・施設野菜(無農薬) 50a



[まるいちHP]



Instagram

# きちまる農園株式会社 無人直売所「小屋まる」 ～地域を盛り上げる島の芸農人～



きちまる農園

## 無人直売所「小屋まる」とは？

南あわじ市できちまる農園（株）を営む木田 朱美さんが中心となり、農業における廃棄野菜をどうにかしたいという思いから、「小屋まる」の運営を開始しました。

「農家が元気に、農家の未来に光を」をテーマに、現在37名の農家の野菜等を取り扱っているほか、マルシェやイベントへの出展も行っています。

南あわじ市のほか、洲本市や神戸元町のカフェでの販売も行っており、地域活性化や食品ロス削減のために活動しています。

## 島の芸農人とは？

木田さんは、淡路島の伝統芸能「人形浄瑠璃」で30年間三味線奏者として活躍。コロナ禍をきっかけに新しい道に進むことを決め、親元で農業を始めました。

現在は、農業と「小屋まる」の運営の他、三味線奏者として舞台に上がり、【島の芸農人】として多方面でご活躍しています。



(無人直売所「小屋まる」と木田 朱美さん)



(販売している野菜)



(木田さん手作りの紹介ポップ)

## 「小屋まる」の魅力は？

「小屋まる」は人形浄瑠璃の芝居小屋の雰囲気、地域農家から仕入れた色とりどりの新鮮な農産物が並んでいます。壁には出展している農園の紹介ポップが飾られ、防犯カメラに付属したスピーカーで遠隔の接客やバーコード決済の利用も可能！

毎日訪れるお客さんや、談笑の場として利用される方もおり、直売所が地域コミュニティを生み出す場となっています。また、こだわりの品揃えで、いつ来ても買いたくなるような農産物に出会えるのが魅力です。

地元農家が丹精込めて作った美味しい農産物がたくさんありますので、ぜひお立ち寄りください！

**最新情報はここ！  
(face book)**

## 店舗住所

兵庫県南あわじ市賀集福井392の1

# 「アス→ノウ」プロジェクト

あす アスリート  
～明日に向かって農に取り組む選手たちを応援するプロジェクト～



農林水産省では、2024年7月、農業界でのアスリートの活躍が農業界及びスポーツ界の両方の課題解決につながるのではないかと考えのもと、農業界でのアスリートの活躍を後押しする政策を考えるため、若手職員を中心に「アス→ノウ」プロジェクト ～明日に向かって農に取り組む選手たちを応援するプロジェクト～ を立ち上げました。



このプロジェクトでは、アスリートによる農業への取組事例の現状や課題、今後の展望等を調査するとともに、スポーツ関係団体、農業関係団体、自治体等の取組の調査を行っています。これらの調査結果を基に、アスリートが農業界で活躍することによる効果や、参入にあたっての課題等を整理し、今後の施策検討につなげています。

<情報発信>



【公式HP】 【公式Instagram】

## 地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

TEL : 078-331-5924 Email:hyogo28\_hsatt\_kinki@maff.go.jp